

## 市長記者発表

オンライン学習サービス『スタディサプリ』本格運用 共同記者発表

令和5年6月1日

### 今治市長（徳永繁樹）の発言内容

本日は、マスコミ各社の皆さまにおかれましては、お忙しい中お集まりをいただき誠にありがとうございます。

このたび、本市の全ての中学校 14 校の生徒 3,342 人を対象に、「一層の学力向上」を目指すため、リクルート社の全面協力の下、「スタディサプリ小学・中学講座」を本日（6月1日）から、本格的に運用することとなりましたので、ご報告させていただきます。

リクルート社におかれましては、令和3年から島しょ部の高等学校魅力向上のために、私共とともに取り組んでいただいておりますこと、心から敬意と感謝申し上げます。

さて、本市では、一昨年の令和3年度「今治市独自」の施策で、高校生向けの学習塾のない伯方・大三島の両分校で、リクルート社のスタディサプリを使った学習支援を実施し、学力アップや高校魅力化の向上、そして、キャンパス制による両学校の活用というかたちで、しまなみ海洋高等学校（仮称）の3年後の新設に向け、大きな成果と夢を描くことができました。

リクルート社のスタディサプリは、ドリル教材や講義動画が豊富に用意されているオンライン学習サービスです。学習時間や学習環境に制約が大きい学生に対し、オンラインで配信される課題や授業動画を、学びたい時に学べる手段として提供し、習熟度や環境・目的に応じて個別に学習支援を行うことができます。

これらを受け、昨年12月から今治市内の中学生の学力向上を目指し、スタディサプリによるオンライン学習を市内にある3つの中学校の2年生（桜井中80人、朝倉中29人、大島中35人）でモデル導入しました。

モデル導入では宿題など指定された学習課題だけでなく、生徒自らスタディサプリを活用して、必要な学びを選択し学習に取り組んでいると報告を受けております。

その結果を踏まえ、このたび、市内中学校の全学年を対象に、本日より本格的に運用することにいたしました。

私が令和3年度に策定した「今治市教育大綱」の重点方針の一つとして「誰一人取り残すことのない学びの実現」のためにも、個別最適な学習ができるスタディサプリは、それぞれの生徒の実態に応じて基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることが可能となり、学力の2極化の解消や配慮を要する生徒への対応等の場面で様々な生徒に「学びの実現」を提供することが期待できます。

今後、スタディサプリを導入し、各生徒が家庭において一層主体的に学習に取り組むための環境を整えることにより、今治市内全中学生の学力向上及び、進路保障の一助、そして教員の皆さんの負担軽減になればと考えております。

私からは以上でございます。

## 今治市教育委員会教育長（小澤和樹）の発言内容

本市では、近年、全国的に言われておりますように、学力の向上やいじめ・不登校等 一人一人のニーズに応じた支援など、複雑で多様な教育課題がございます。このような状況下において、各学校では、生徒が主体的に学習に取り組めるよう I C T を効果的に活用した授業改善や、別室登校している児童生徒に授業配信を行うなど、個に応じた学習支援に取り組んでいるところです。今治市教育委員会としましては、さらに、家庭学習においても基礎基本の定着や個別最適な学びの実現を支援するために、I C T を活用した学習環境の改善が必要であると考えています。

この度、本格稼働するスタディサプリは、小学校中学年から高等学校の学習内容を、授業動画やスライド等を活用し、分かりやすく説明されています。学年を超えて活用できることから、自分のつまづき箇所を自ら学び直すことができるだけでなく、興味に応じて未習範囲の先取り学習も可能なため、家庭における主体的で個別最適な学習をするための環境を整えることができます。さらに必要に応じて学習する内容を決断するプロセスは、必要な情報を収集し、自らの進路を選択する一助になると期待しています。

今回のスタディサプリ導入をきっかけにして、生徒一人一人が主体的に学習に取り組もうとする意欲を更に向上させるとともに、今治市内全

中学生に対して、誰一人取り残すことのない学びの実現につながると考えております。

教育大綱に掲げる「子どもが真ん中で輝くやさしいまち“今治”」の実現のため、リクルート社の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

私からは以上でございます。

## 株式会社リクルート様からのご発言内容

【Division統括本部 まなび教育支援Division  
Division長 木村 健太郎 様】

本日は、ご多忙中にもかかわらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

ただいまの徳永市長からのお話にありましたとおり、弊社リクルートでは、これまで今治市の皆様と伯方島の今治西高等学校伯方分校へのスタディサプリ導入や検証など様々な取り組みをさせていただきました。そのようなご縁もあって、今回、スタディサプリの今治市内中学校への導入決定をご報告する運びとなったこと大変嬉しく、感謝申し上げます。

現在スタディサプリは、46の自治体で導入いただいております。今回の今治市で47例目となります。愛媛県内としては全中学校に導入する自治体は、今治市が初めてです。

スタディサプリは、もともと地域差、所得差による、教育格差を解消したいという想いで立ち上げたサービスです。市として導入いただくことで、より多くの学生にサービスを提供することができるようになりますので、私たちが最初に実現したいと思っていたことに近づけるのではないかと考えています。引き続きスタディサプリを通して学生の「学び」のサポートに取り組んでまいります。

また、近年教育現場では、教科学習だけではなく、やり抜く力やコミ

コミュニケーション力など『非認知能力』が重視されるようになっております。学校現場も先生が多忙な中で、個別最適学習の教科指導サポートをICTを利用して進めていくことで、そこで生まれた時間で『非認知能力』の教育に力を注いでいくことも可能になるのではないかと思います。まさに個別最適化学習をICTで実現し、先生がより一人ひとりと向き合える環境を学校において作っていくことに寄与できればと考えております。

今後の今治市との取り組みでも、学力向上はもちろん最終的には生徒の皆さんが主体的に将来を選択していける力を育む一助になればと思っております。

私からは以上でございます。